

## 平成27年度ユネスコスクール年次報告書

報告期間：平成27年4月～平成28年3月

### 1. 学校概要

学校名 東京都多摩市立大松台小学校  
 種別  保育園・幼稚園  小学校  小中一貫教育  
 中学校  高等学校  中高一貫教育  
 教員養成  技術/職業教育  
 特別支援学校  その他 ( )  
 住所 〒206-0034  
東京都多摩市鶴牧6-4  
 E-mail : sekiguchi-toshiya@city.tama.tokyo.jp  
 Website : http://www.tama.ed.jp/oomatsudai/  
 児童生徒数 男子 273名 女子 254名 合計 527名  
 児童・生徒の年齢 6歳～12歳

### 2. 実施活動（複数選択可）

- 地球規模の問題に対する国連システムの理解
- 国際理解
- 世界遺産
- 平和・人権
- 環境
- 気候変動
- 生物多様性
- エネルギー
- 防災
- 食育
- 伝統文化
- そのほか（ 社会福祉活動、奉仕活動 ）

### 3. 活動内容

(1) 1年間の主な活動内容について記載願います。

<1年生>自然や命はかけがえのないものであることを自覚する子

- ① 「植物を育てよう」「生き物を育てよう」「虫と遊ぼう」と題し、各教科との関連をもちながら、自然の素晴らしさや生き物の命にふれさせる活動を実施。
- ② 「たてわりふれあい活動」「昔遊び交流」「2年生とのたこづくり」と題し、異学年児童との相互の関わりや地域のお年寄りなどとの関わり大切さを学んだ。
- ③ 「給食を考えよう」と題し、栄養教諭を活用して給食の栄養や食の大切さを考えさせた。

<2年生>自然と親しむ、他者を大切にすることを学ぶ子

- ① 「野菜育て」「春夏秋冬みつけ」「花を育てよう」と題し、季節の中での生き物の命や素晴らしさを感じ取り、自然を大切にすることを学んだ。
- ② 「給食を考えよう」と題し、栄養教諭を活用して給食の栄養や食の大切さを考えさせた。
- ③ 「学校探検・なかよし遠足1年生と」「なかよしフェスティバル」「1年生とのたこづくり」と題し、異学年児童との相互の関わりやリーダーシップをとる関わり方を学んだ。

<3年生>自然の中の不思議を知り、問題の本質を見抜き、感じたことや考えを表現する子

- ① 「虫はかせになろう」と題し、自然の中の生き物や植物を様々な視点から調べ、地域の公園を管理する方からの話も伺い、分かったことや感じたこと等をまとめ、校内に発信した。  
(体験・情報収集・課題解決・表現活動)
- ② 「食べ物のひみつ教えます」と題し、栄養教諭を活用して食生活のバランスについて考え、家庭を交えて食の大切さについて学んだ。  
(情報収集・課題解決)
- ③ 「安全マップ作り」と題し、地域安全マップを保護者、警察の協力を得て調査、検証、作成した。また校内での発表を行い、情報を共有した。(情報収集・課題解決・表現活動)
- ④ 介護施設との交流を通し、福祉の大切さや高齢者との触れ合いの中で、互いに尊重しあって生きる姿勢を学んだ。  
(情報収集・体験活動)

<4年生>環境や福祉についてのテーマで、自分で考え、問題の本質を見抜き解決する方法を身につける子

- ① 「自分と環境」ではごみ問題、資源としての水や緑のカーテンをつくる活動を通して、環境問題に対して自分なりの考えを育て行動する力を育てた。ごみ問題では市役所のごみ対策課のサポートを、資源としての水で東京と水道局のサポートを、ゴーヤの緑のカーテンづくりは地域の「楽農倶楽部」のサポートを受け、活動を行った。  
(体験・情報収集・課題解決・表現活動)
- ② 「自分と福祉」では、視覚・聴覚障がいについて学び、多摩市社会福祉協議会の障がいのある方からの話も聞きました。障がい者と共に歩む社会を考え、発表を行いました。  
(体験・情報収集・課題解決・表現活動)

<5年生>環境問題や食の問題をテーマとして自分で感じたことや考えたことを表現、実践する子

- ① 「食について考えよう」では、社会科の「私たちの生活と食糧生産」の学習の発展として「食」をめぐる様々な問題について調べ、考え、発表した。実際に大豆や米を栽培し、体験活動を元に課題解決学習を行った。(体験・情報収集・課題解決・表現活動)
- ② 「環境問題について考えよう」では、米や大豆の生産を通じた環境問題、複数の民間生産団体の出張授業を通して今後の課題について考え、互いに発表し合った。  
(体験・情報収集・課題解決・表現活動)

<6年生>平和、国際理解などをテーマに、物事の本質を見抜き自分で感じ、考

### える力、問題の解決を図り実践する子

- ① 「平和学習」「タイムトラベラー～歴史体験活動」「未来へ」では、戦争体験者や原爆体験者の話、市埋蔵文化財センターの見学などを通して体験を充実させ、自分たちの考えるこれからの世界の平和と発展について考え、意見文を書いた。  
(体験・情報収集・課題解決・表現活動)
- ② 「わたしたちの学校」では、わたしたちがよりよく過ごすためには、学校内でどのような活動が必要かを考え、実践した。  
(体験・情報収集・課題解決・表現活動)

### (2) 活動時間について（下記から選択して下さい。）

- 通常の授業時間を使用（総合的な学習の時間を含む）
- 時間外活動の時間を使用
- ユネスコクラブの活動として実施
- その他（）